



第51号

宇治市の教育だより

発行 宇治市教育委員会
 〒611-8501
 京都府宇治市
 宇治琵琶33番地
 TEL(0774)21-1879
 http://www.uji.ed.jp/
 編集 教育指導課内
 「学校教育広報」
 編集委員会

平成24年度から宇治市立のすべての小・中学校において

小中一貫教育を実施します



ハチャ君

今日の子どもの状況を見ると、学習意欲の低下、家庭での学習習慣の未定着、不登校や問題行動など、様々な課題があります。また、中学校への進学に際し、学校での生活のきまりや学習内容、指導方法などの急激な変化に、戸惑いや負担を感じる子どもたちも少なくありません。

宇治市では、小学校と中学校が連携した指導の重要性に着目し、平成13年度から小中連携教育の実践的な研究を進めてきました。平成24年度からは、これまでの小中連携教育の成果を踏まえ、小学校と中学校とが一体となって、義務教育9年間を見通し、子どもたちの発達段階に応じた系統的、継続的な学習指導や生徒指導を行う小中一貫教育を実施します。

小中一貫教育により、子どもたち一人一人の学力の充実・向上を図るとともに、豊かな人間性や社会性をはぐくみ、義務教育9年間で「子どもたちが自らの将来を切り拓く力」を身に付けることをめざします。



小学校音楽の授業における中学生の音楽実技指導(西小倉中学校区)



中学生の支援を受けながら理科実験に取り組む小学生(西小倉中学校区)

宇治市教育委員会 教育委員の紹介

久富明宏委員 (委員長職務代理者) 切明友子委員 金川琢郎委員
 石田肇教育長 八木八重子委員長



教育委員会とは?

教育委員会は5名の教育委員から構成されている合議制の執行機関です。教育委員会の事務を処理するため、教育委員会事務局が設置されています。教育委員は、教育に関して深い見識を持つ人の中から、市長が議会の同意を得て任命します。任期は4年です。



小中一貫教育校

「小中一貫教育校」は、小学校と中学校の施設は独立しているものの、教育目標や教育課程等を統一し、「一つの学校」として機能する形態で、教職員、子どもたちが積極的な交流を行いながら教育活動を進めます。

いずれの形態においても、小・中学校が教育目標や運営体制、指導体制を一体化し、学校行事を合同で実施するなど、小・中学校の教職員が協働して教育活動を進めます。



小中一貫校

新しい学校運営体制としての
小中一貫校と小中一貫教育校

小中一貫教育を進めるために、宇治市では小学校と中学校とを一体のものとしてとらえた新しい学校運営体制として、「小中一貫校」と「小中一貫教育校」の体制を整えます。

「小中一貫校」は、小学校と中学校の施設、組織・運営を一体化した形態で、教職員、子どもたちが同一敷地で日常的に交流を行いながら教育活動を進めます。

◆この宇治市の教育だよりは、古紙を配合した再生紙を使用しています。限りある資源を大切に◆